

エコライフ推進事業

1 事業の概要

自らのライフスタイルを見直し、家庭ごみの排出抑制（Reduce）を図る契機とするため、買い物にマイバッグを持参し、レジ袋の受取を辞退する普及啓発活動を推進する。

2 平成28年度実績

① 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

- ・毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、事業者、消費者・環境団体、市町村と協働で、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開し、レジ袋削減に対する県民意識の向上を図る取組を実施した。

参加店舗数 1, 553店舗（平成29年4月1日現在）

レジ袋辞退率 24.8%（平成29年2月現在）

- ・事業者へレジ袋辞退カード、ポスター、ステッカー等の啓発資材を送付した。
- ・若年層への啓発として小学4年生へクリアファイル配布、大学入学式・成人式にチラシやエコバッグを配布した。

- ・6月及び11月のおかやまマイバッグキャンペーンでの啓発活動を実施するとともに、県及び各市町村発行の広報紙等において広報を行った。
- ・マイバッグ持参率等を把握するため、平成29年1月～3月に、県内15店舗でマイバッグ持参率等アンケート調査を実施した。

マイバッグ持参率 46.4%

レジ袋が有料になった場合、「マイバッグを持って行く」と答えた人の割合 73.7%

<街頭啓発>



J R岡山駅前（6月10日）

高梁市（11月10日）

② マイバッグチャレンジャー事業

● 目的：

幼稚園児には、マイバッグを使った買い物の仕方を体験することにより、保護者には「マイバッグ持参」の意義を理解していただくことにより、ごみの減量化、地球温暖化防止につながる環境に配慮した暮らし方について、家庭で取り組むきっかけとする。

● 日時：平成28年11月21日（月）14:00～15:00

● 実施場所：イオン岡山 1階「イオンスタイル」食料品売り場

● 参加者数：幼稚園児 17名・保護者 16名

● 実施方法：（保護者は適宜補助）

- ・買い物用のマイバッグは当日参加園児に一人1袋配布する。
 - ・店内用のかごを持ち、マイバッグは折りたたんだままで持つ。
 - ・200円以内の商品をかごに入れる。（購入商品は自由・費用は参加者負担）
 - ・レジに持って行き「レジ袋はご入り用ですか」と聞かれたら「レジ袋はいりません」と答える。
 - ・お金を払い、商品を自分でマイバッグに入れる。
- ### ● 保護者の感想：
- ・子どもがごみについて知るいい機会になった。
 - ・保護者自身、買い物時にマイバッグを持参しようと思った。
 - ・マイバッグや食品ロスについて知るいい機会となった。 等



3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班